

株式会社東芝 取締役・機関投資家 グループミーティング

日時： 2021年11月15日（月）17:30-18:30（日本時間）

2021年11月16日（火） 8:30- 9:30（日本時間）

出席者： 取締役会議長（暫定）代表執行役社長 CEO 綱川 智

社外取締役 戦略委員会委員長、指名委員会委員、監査委員会委員 ポール・ブロフ

社外取締役 報酬委員会委員長、指名委員会委員、戦略委員会委員 ジェリー・ブラック

社外取締役 報酬委員会委員、戦略委員会委員 ワイズマン廣田 綾子（11月16日のみ）

社外取締役 監査委員会委員長、指名委員会委員、戦略委員会委員 橋本 勝則

形式：Zoom によるリモート会議

■ 取締役会議長（暫定）代表執行役社長 CEO 綱川 智 冒頭挨拶

先週金曜日に、「株主価値向上に向けた東芝の変革」と題して、新たな経営方針についてご説明いたしました。

東芝グループは未来に向かって更なる飛躍を遂げていくために、東芝から2つの事業会社をスピンオフし、独立した3つの会社とする戦略的再編を行うことを決定しました。今回の戦略的再編により、インフラサービスカンパニー、デバイスカンパニーは、それぞれの事業領域でのリーディングカンパニーとなることを目指してまいります。

本スピンオフ計画の要諦は「価値の顕在化」、「専門的かつ俊敏な経営」、「株主への選択肢の増加」の3点であり、ステークホルダーの皆様にとって、価値を最大化できる最善の道であると確信しています。

次に、ブロフ取締役からも戦略委員会(SRC)の活動に関して簡単にご説明させていただきます。

■ 社外取締役 戦略委員会委員長 ポール・ブロフ 冒頭挨拶（翻訳）

金曜日に SRC が発行した長いレターの中で、本スピンオフ計画に至るまでのプロセスについて説明しています。この経緯は数多くの代替案の評価・検討にも触れています。本スピンオフ計画は、政府による近時の取り組みを活用した、これまでの日本の商習慣に縛られない大胆かつ新たな取り組みであり、東芝の進化における大きな転換点となります。徹底的かつ客観的なプロセスを経てこの結論に至ったという点を改めてお伝えたく、またその際にご意見を下さった戦略・金融投資家の皆様には感謝いたします。また、本日明確にお伝えしておきたいのは、当社取締役会から皆さまに本計画を発表したことで我々の役割が終わったわけでは決していないということです。我々は、来年1-3月に実施を予定している臨時株主総会(EGM)で株主の皆様にお諮りするまで、スピンオフ計画の準備を引き続き監督して参ります。ご挨拶を締めくくるにあたり申し上げますと、SRC の委員長として、また個人的にも、この決断は東芝にとって絶対的に正しいステップであり、エキサイティングで、活気に満ちていると確信しています。そして、東芝を確かな新しい成長軌道に乗せてくれると期待しています。

以上